

## 議 事 録

- 1 会議名 平成26年度第3回さぬき市男女共同参画推進協議会
- 2 日時 平成27年2月17日(火) 10:00～11:30
- 3 場所 さぬき市役所第2委員会室
- 4 出席者 浅川委員 柿木委員 亀井委員 小山委員 多田委員 筒井委員  
橋本委員 南田委員
- (事務局) 政策課 向井課長 津村係長
- 5 傍聴者 0人
- 6 会議次第
- 1 開会
  - 2 会長あいさつ
  - 3 議事
    - (1) 男女共同参画講演会について【報告】
    - (2) 平成27年度男女共同参画推進活動事業の提案等について
  - 4 その他
  - 5 閉会
- 7 配布資料
- 資料1：平成26年度男女共同参画講演会をふりかえって  
資料2：「男女共同参画社会」ポスター作品募集要項  
資料3：「男女共同参画社会」絵・イラスト作品募集要項

### 8 議事の経過及び発言要旨

発言者	意見概要
	＜開会 10:00＞
事務局	<p>＜開会挨拶＞</p> <p>本日はご多忙にもかかわらずご出席を頂きお礼申し上げます。平成26年度第3回さぬき市男女共同参画推進協議会を開会させて頂く。最初に筒井会長からご挨拶を頂き、引き続き議事に入って頂きたいと思うので宜しく願う。</p>
会長	<p>＜挨拶＞早速議事に移りたいと思う。議題1、男女共同参画講演会についての報告を事務局からお願いしたい。</p>
事務局	<p>＜事務局説明＞ 資料1</p>
会長	<p>委員さんからの感想等をいただきたい。</p>
委員	<p>講演会に行くたび、実際のさぬき市の動きとの差異を埋める作業をしていくことが大事だと思う。日頃行っている我々の活動がいいかげんだという意味ではないが、どうしても差を感じる。先日滋賀県内の町の社協が行った講演会を聞いた。さぬき市と同じくらいの5万人の人口だが、広さは5～6倍ある。そこで現在見守り隊を行おう</p>

	<p>としている。250～260の自治会のうち、75～76の自治会で見守り隊があり、発展させていこうとしている。さぬき市は6つくらいあるが、実態的にはそれほどない。講演会では、参加している人たちが話を身近に感じて聞いていた。出席者は500人くらいおり、婦人会・老人会・消防団の人たちなど幅広く集まっていた。我々も講演会の後、出席した人をどう参画していけるかという企画を続けて行うことが大事ではないかと思う。</p>
委員	<p>話が上手で聞きやすかった。人権推進課の入札の関係で来られた企業さんたちの感想はまとめているのか。男女共同参画の情報が少ない中、講演を聞いてどのように思われたか知りたい。我々が講演会をした後、どのように発展して行ったらよいか考えなければと思う。</p>
委員	<p>企業からの参加の方は、後で感想を提出するという話はなかったのか。</p>
事務局	<p>人権推進課からの案内によるものなので、通常と同じ運用としている。知り合いの個人事業主さんは、「話は聞きやすかったが、自分の会社でどう生かしていくかまではなかなか難しいが、一つのきっかけにはなった。」と話された。段階を踏まなければいけないという印象は受けた。</p>
委員	<p>新しい場を設けて、話を聞いていただくとお互いに意見の交流ができる。企業の人事関係の人を集めると、なかなか本音は言わないが、本音を聞き出すテクニックを身につけないといけない。まず場を設けることが大事である。さぬき市で事業をされている方を集めていろいろな話を聞くのは今後に生かせる。</p>
委員	<p>個人事業主さんで、「積極的に参加したのではなかったが、今まで考えたことがなかったので、話を聞いてよかった。男女共同参画という言葉を知ることができた。」と、関心がなかった方が聞いてくれたことは、よかったと思う。</p>
委員	<p>大勢を対象にしている講演会には適任な方だったと思う。男女共同参画を個々が持ち帰って、掘り下げて考えられるかというところまでの話ではなかったので、初めて聞かれた方、普段意識していない人への動機づけ、きっかけ作りにはなったと思う。ここに集まっている委員は物足りないと感じたと思うが、市民を対象にしているので、聞いた人が、こういった考え方もあるんだとか、男性側から見たらどうなのかなという意識を持ってもらったことなど、知るという意味ではある程度よかったのではないかと。掘り下げて、地域密着型であるとか、個々に対応するとなると戸惑う人も出たのではないかと思う。広く浅くという意味では適任であったと思う。</p>
委員	<p>今まで男女共同参画の活動はしていたのだが、初めて夫と一緒に話を聞いた。夫が「男女共同参画の言葉や内容については初めて知ったが、わかりやすい講演であったし、話が面白かった。家の中での参画を考えなくてはいけなくて」と言っていた。家族の中からや友達からなど、きっかけがあって考えることはいいことだと思う。</p> <p>行政は、関係者に話して聞かせる受け身となっている。次にはどうするかという、ある程度の流れも必要である。講演会を行うだけでなく、その後何かを作っていくことも大事なのではと思った。今「介護」をテーマにワークショップを行っているが、6～7人のグループを作って討論をすると、小さなグループでは次に何かしないといけないとなるが、そこで話が終わってしまう。道筋がどこかでつけばいいなと考えている。</p>

委員	<p>受付を担当し、年齢別・男女別にどれだけの人 coming いるか、統計をとったところ予想より男性が多かった。若い世代は少なく、50歳代の方が多かった。大事なことは聞いたことについて、それぞれが家庭でどれだけ具体的にしていくか。さぬき市は高度なことではできている。平成15年からの資料を見たが内容はすばらしい。条例があり、プランも作り直しているし、その都度、新しい意見も出て、できあがっている。その点ではさぬき市は胸を張っていいと思う。残念なことは、足元ができていないので、どうしていくかということを考えなくてはいけない。その一つにこの講演会があった。聞いてよかったで終わるのでなく、それを家庭でどのようにしていくか、地域でどうするかということ。二つ例をあげると、ドアを開けると夫婦どちらが先に入りますか。男性が先に入り、後ろから女性が付いていくと思う。私はそれをせず、ドアを開けたら女性を先に入れる。他にも集合写真を撮ると女性は必ず後ろに行きます。それをどう変えていくかということが大事である。基本は家庭である。さぬき市は家庭でどう取り組んでいるかがわからず、理論ばかりが先にいっている。これから時間をかけて許される範囲で考えていく。男女共同参画は平成14年度からで、1000万円以上使っている。それだけの費用を出して進めていっているのだから、自分はどうしないといけないかを考える。講演会を行ったことが一つ一つ生きていくようにしてほしい。ざっくりばらんに手立てを考える。</p>
委員	<p>資料の中に、来られなかった方の意見を言ってくださった方の感想がないが、その方が行ってよかったと思ったなら、来られなかった方に対して参加してよかったと伝え、その方も次回は参加しようとなるのではないかと思います。来られた方の感想がなかったのが残念である。</p>
会長	<p>講師は適任であったと思います。また、参加された方がつまらなかったとか、寝てしまったというのがなかったのはよかった。ただ人数が伸びなかったことは残念である。広報の仕方・周知の仕方を考える。日程についても、3連休であったため参加者が少なかったと思う。</p>
事務局	<p>他の行事も3連休に集中していた。</p>
会長	<p>日程も考えた方がよかったのでは。</p>
事務局	<p>講師の先生の都合もあったが、今後は場所を考える。たくさん意見をいただいたが、年間通して同じテーマで進めていく、知識を深めていただくという継続した取り組みも大事であると思っている。少なくとも女性の活躍については、政府も旗を振っている。県も来年度に向けて新たなものを考えているようなので、市としてもこれを進めていかないということはありませんので、いい取り組みをみなさんと考えていければと思っている。</p>
委員	<p>前もって、どこかで講師の先生の講演会を聞いていたら「この人の講演おもしろかったよ」と付け加えてチラシを配ることができたと思う。</p>
事務局	<p>男女共同参画と言うと正直引かれる方が多い。女性の活躍や男性の働き方を見直すことにより、日本がどうなっていくかをみなさん方がどのように思われているか、講演会に参加する側の意識が重要になると思う。例えば女性がキャリアアップするときに、何か足りない自分の中でモヤモヤしているものがあって、この講演会を聞きにいったら少しでもモヤモヤが解決できるかもしれないと思っていただければ参加</p>

	<p>してくれるでしょうし、もともと何もない、興味のない人を誘ってもなかなか行かないだろうから、様々なテーマで小さく、数を開催していくというのも手立てだと思ふ。規模はさておき、今後も講演会は行っていくが、どのようにテーマを決めるか、どの層にどうしてほしいのかということを確認しながら進めることが大事だと思つてゐる。</p>
委員	<p>興味のない人にも、さぬき市はこんなことをしていたと記憶に残るような活動をしてほしい。</p>
事務局	<p>ロコミに勝るものはないので、みなさんにも頑張つていただきたい。</p>
委員	<p>例えば中学生の保護者を対象に、「中学生を子供に持つ親の悩み」をテーマとした講演会を行う。その中に男女共同参画を上手く話しこめるような講師を呼び、できるだけ夫婦で参加してもらふ。個別にする場合にはいいのではと思ふ。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
委員	<p>農業・林業をしている人に、来てほしいと言つてもなかなか集まらない。男尊女卑が強い傾向にあり、女性は大変な働きをされるのだが、権限は男性にある。漁業されている男性は家の事に全く関心がないようだ。いろいろな層に、世の中は変わつてきているということをお話してくれるような講師がいるとよい。そうするとねらいも定まるのでは。</p>
会長	<p>どんなテーマだと参加されると思ふか。</p>
委員	<p>自分の職種はバスの運転手であるが、はっきり男女が分かれた職種であり、最近では女性ドライバーも見つるようになってきたが、割合でいけば1%いるかいないかぐらいである。バスガイドであれば100%女性だ。そういう感覚を持っている私たちに男女共同参画というイメージがわからない。例えば市役所など男女が平等に仕事をしているところをターゲットにする。その中でも男女の職種の違いがあると思ふので、何か企画をしてはどうか。</p>
会長	<p>ワーク・ライフ・バランスの考えであればスムーズに受け入れやすいのか。</p>
委員	<p>女性が産休や体調の面で休むことに関しても、込み入つて女性と話し合える職場ではない。</p>
会長	<p>若い方が働かされている環境はいろいろな職種があると思ふが、共働きでないと生活が厳しい現実がある。時間をやりくりして参加してもらうには、よっぽど魅力的なものを用意する必要がある。でも、その層をターゲットとすると次の展開に繋がりやすい。ある程度歳を重ねると、今まで通りで構わないという人たちと、意識を持たないと大変だという人たちに分かれる。自由な時間を持っている人たちなので人数は集まる。でもその先へ進展させるのは難しい。自分の子供や孫に話してくれると家庭の中で広がると思ふ。市がターゲットをどこへ持つていくかが決まると方向性が定まる。単発ではなく、流れがある動きができればと思ふ。</p>
委員	<p>結論から言うと「女性に対して戦いを挑む!」。具体的に男女共同参画を作つてい</p>

	<p>くためには、どうしないといけないかということをもっと勉強してほしい。ある新聞の連載記事では、全国で著名な行事をした人が、4年間で1249人載っていた。年齢別でいうと40～50歳代が多い。その中で女性は1割であった。自分自身で開拓し、依存しない。会社を作るとかグループを作るとか抵抗があっても乗り越えていく。積極性があり、常に何かに関心を持ってアンテナを張っている。もちろん男性も勉強しないといけないが、女性には前に積極的に出てほしい。2月13日の新聞記事に「案ずるより夫婦で準備」という、共働きの男性・女性の役割が載っていた。そこに家事と育児の分担チェックシートがあった。こういう記事も時には目にとめると考え方・取り組み方が出てくる。子育てが終わっている世代でも、フォローするにはどういったことがあるのかと考える。この会で10分でもいいから身近な話を出し合えればと思う。講演会は度々あり、講師が大事な話をしてくれる。後で講師を囲んで話し合えることができれば、講演会の話はどうだとか、私はこうしているがどうでしょうか、というやり取りができる。以前、有名な先生が、劇団の指導をされているところを見た。自分の言ったことに対し、子供や私たちが質問すると必ず具体的に答えてくれる。動作を伴って教えてくれる。それを見て私は考えた。講演会のあと、話が聞けて良かったで終わらず、どうしたらよいか記憶が薄れないうちに座談会を開いて話し合えればいいなと思う。</p>
事務局	<p>先ほどの委員の話でもあったが、40代前後は働いているというのが前提で、仕事がかだけ忙しくなっている中で、男女共同参画のような夢みたいなことを言うなどという思いが根底にあるが、今の働き方がいいのかと聞くと、「よくないけど仕方がない」という意見が返ってくる。労働環境とワーク・ライフ・バランスはつながりの深いテーマで、男性労働者を助けるための女性労働者の活躍でなく、もともとの労働のやり方をどう考えていくかということがキーポイントになっている。それに基づかないと男女共同参画は進んでいかないと思うが時間がかかる。しかし、諦めずに、夢を持って頑張っていく、理想を追求することが大事だと思っている。</p>
会長	<p>次に平成27年度男女共同参画推進活動事業の提案について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>&lt;事務局説明&gt; 資料2～3</p>
委員	<p>それでいいと思う。加えるなら、なぜ自分はこの絵を描いたか、子供たちの意見を発表できるような場所を作ってあげるとよいのではと思う。</p>
委員	<p>パネル展のホールに、テレビはありましたか。テレビで「私はこんな考えでこの絵を描きました」というような映像・コメントを流すのも面白いのではないかな。</p>
会長	<p>小学生なら喜んでコメントしてくれそうだが、中学生にもなると嫌がるかもしれない。</p>
委員	<p>難しいと思う。3月の末に教職員の異動があり、市内で中学校が3つになる。小学校も富田と松尾が統合する。学校が無くなって、生徒がそれぞれ新しい学校で出発する。秋頃までなら学校が落ち着いて、受けてくれるのではないかなと思うが、学校側に相談してみてもどうか。</p>
事務局	<p>6月のパネル展に考えており、6月5日くらいまでに受け取らないと展示ができないというのが一つ。来週くらいには応募を出して、旧小・中学校時代に描いていただ</p>

	<p>くようになるが、統合もあり提出はないかもしれないというのが一つ。見送るべきなのかどうかというところです。</p>
委員	<p>いつまでに描いてくださいと言わなくても、男女共同参画という言葉が入ってなくても、男女共同参画社会を考えるのに十分な絵だというものがあれば、出してほしいというようなやりとりをしたらどうか。加えて、委員もポスターを描いてみてはどうか。それも一つの勉強だと思いませんか。</p>
会長	<p>いいと思います。</p>
委員	<p>小・中学生のほかに、大人で絵を描いている方がさぬき市にはたくさんいます。油絵・水彩画・似顔絵、女性であったらパッチワークやトールペイント・花など、自分の好きな分野で男女共同参画のイメージに合うようなものを募集してみたらどうか。文化祭のようになるかもしれないが、テーマが統一して男女共同参画であれば面白いものになるのではないかと。作品を出した方の友達も見に来てくれるのではないかと。にぎやかになったところに男女共同参画の資料があれば、こんなのがあるのだと手に取ってくれると思う。</p>
委員	<p>数年前に行った、「川柳教室」はよかった。先日テレビで川柳が流行っていると流れていた。川柳という方向でもいいし、今提案いただいた手立て、いろんな分野を考えてみる。もちろん小・中学校にもお願いし、委員も参加する。</p>
会長	<p>公民館の活動はいろいろあるので、お願いすると広がると思う。</p>
委員	<p>自分が何か作ったら、見てもらいたいという気持ちになる。</p>
委員	<p>男女共同参画はテーマが広いので、夫婦で作ったという物でもいいのではないかと。</p>
委員	<p>男女共同参画はすべてに繋がると思う。</p>
事務局	<p>いいアイデアだと思うので進めてみたいと思うが、パネル展に合わそうと思うと、4月20日号の広報で作品募集を出し、締め切りが6月5日で間に合うのか。それとも今年度はセミナーを行い、作品を作ったり、川柳をしたりと、年間別の形で行い、翌年にはもっと長期間で準備ができるようにするのか。みなさんいかがか。</p>
委員	<p>1ヶ月くらいの短期間でできる物もたくさんあると思う。対策を希望するのであれば、時間を設ける。いろいろ方法はあると思うが、みなさん時間はあると思う。</p>
会長	<p>年齢は上がるかもしれないので、小・中学校にはそれぞれお願いしてはどうか。できるところは受けてくれるだろうし、先生も心づもりはあると思う。昨年、先生に聞いたら、公民から話をして、きっかけは作っていると言っていた。</p>
委員	<p>ポスターが集まらないときは、みんなで描きましょう。</p>
委員	<p>募集要項に手を加えていただき、「今年は統合の事情もあり、過去のポスターで構わないので、表現が合ったものを選んでください。新しいものも大歓迎である」と入れたらどうでしょうか。</p>

事務局	依頼文書に書き込むなど、考えていきたいと思う。
委員	できるだけ趣旨に沿ったいい作品を出していただきたいと思う。一般公募など長期に視点をおいて、考えていただきたい。
委員	今年は一般公募しないということか。
委員	事務局が大変になるのでは。
事務局	玉浦川柳会さんと女性団体連絡会さんは確実に毎回出していただいている。
委員	急に公募していろいろなところに行けますか。行けるならよいが。
事務局	たくさん出してくれるとありがたいが、どこで展示するかという問題もあるので、時間をかけて行うという意見もいい。また、一般の方から作品発表も兼ねて行うというのも非常にいいことだと思う。少し時間をいただいて検討したい。
委員	家族で作った作品展という形がいいと思う。基本は家族なので、協同という流れを作ってほしい。
委員	どのくらいの年齢を考えているのか。
委員	子どもが中学生くらいまでの家でしょうね。
委員	理想的だが、また別の公募になると思う。
委員	小学校の次は幼稚園・保育所といけばいい。
会長	小・中学校には今年度からお願いする。市民団体さんにもお願いする。みなさんに聞きながらいろいろ準備ができるとありがたい。全部事務局にお預けする。 事務局は、その他になにか連絡ごとはありますか。
事務局	こちらから懸案事項はない。今年度は、これが最後となります。来年度は4月か5月にみなさんと話し合いできればと考えている。
委員	担当者の変更はあり得るのか。
事務局	人事異動ということはあるが、担当者が変わっても、いただいた意見を引き継いで進めていけるようしたい。
会長	以上で、第3回男女共同参画推進協議会を閉会する。ありがとうございました。
<p>&lt;開会 11:30&gt;</p>	